

名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー2号ファンド（仮称） 運営事業者の募集について

国立大学法人名古屋大学

1. 趣旨・目的

名古屋大学は研究成果の社会実装を大学のミッションと位置づけ、その効果的な形態であるベンチャー起業の活性化に努めてきた。これを加速するため、これまで、本学を含む東海地区の大学に由来するベンチャーに投資する名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー1号投資事業有限責任組合の創設を主導してきたが、さらにこの動きを加速するために、これに続く2号ファンドを設立・運営する事業者を新たに募集する。

2. ベンチャーファンドの主たる投資先

- ・東海地区産学連携大学コンソーシアムを構成する名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学に由来する次のベンチャー
 - 研究シーズによって起業したベンチャー
 - 研究成果を導入した、或いは導入予定のベンチャー
 - 卒業生や在学生在が創業者や役員を務めるベンチャー
- ・GaN 研究コンソーシアム（※1）の成果を社会実装するベンチャー

3. 応募資格

- ・日本国内外で既にベンチャーキャピタル（VC）事業を営んでいる企業
- ・反社会勢力等との関係がないこと

4. 募集期間 2018年8月28日～9月28日

5. 提出書類

（1）申請書類

a. 申請書表紙

- ・応募する企業の名称、所在地、本応募に関する担当者、連絡先等を添付のA4のフォーマットに記載したもの。

b. 名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド事業計画書

- ・ファンド名称、準拠法令等を含むファンドストラクチャー
- ・調達資金規模及び想定される出資者構成
(国内外及び地域別、金融機関・事業会社の別を含み、出来るだけ具体的な企業名等を記載すること)

- ・ファンド運営期間、設立予定時期、追加クロージングの有無及び時期
 - ・管理報酬、成功報酬、設立費用等、ファンド運営会社の収支計画
 - ・主要な投資分野・投資対象に係る基本方針（主たる投資先である大学発ベンチャーへの投資割合を含む）
 - ・投資案件の発掘方法（必要に応じて、5大学の産学官連携部門との連携に関する提案と関連づけること）
 - ・投資先の選定基準及び投資制限
 - ・投資決定方法（投資委員会の構成及び運営方針を含む）
 - ・投資先のインキュベーションの方法、事業展開支援の方法、ベンチャーの支援体制
 - ・投資回収の方針及び想定IRR
- c. 応募企業の概要
- ・代表者及びその経歴、役員構成、主要株主等
 - ・沿革、経営方針、組織体制等
 - ・ファンド運営の実績（パフォーマンス）
（数値データを含めて記載のこと）
 - ・他社と比べた強みと弱み
（投資経験、投資分野、産学連携、投資先支援、経営者候補紹介等）
- d. 担当キャピタリストの経歴・業績
- ・ベンチャーファンド運営に関する業績は詳細に記載する。
特に、次の記載が含まれること。
 - バックグラウンド、得意分野／専門分野
 - 担当した主な案件
 - Exitした案件の会社名、ハンズオンの内容、IRR/投資倍率
- (2) ギャップファンド、起業家育成に関する提案
- ・本学では、本ベンチャーファンドの運営に連動して、ベンチャー起業に繋がる研究シーズを支援するギャップファンドの設置を構想している。このギャップファンドに関する提案を求める。
 - ・本学では、ベンチャーファンドの運営に連動して、起業家育成プログラムの推進を構想している。この起業家育成プログラムに関する提案を求める。
- (3) 大学との連携のあり方及び大学からのガバナンスに関する提案
- ・投資判断は、ファンド運営会社が経済的観点から行う。ただし、投資前に当該投資案件に倫理的問題がないかを確認し、大学に報告すること。
 - ・本ファンドは5大学の外部に設置するが、大学による一定のガバナンスが担保されることが望ましく、具体的な実施方法について提案すること。
 - ・本ファンドを成功させるために、5大学の産学官連携部門は、発明の優先

開示（※2）、ベンチャー起業の候補の紹介、プレインキュベーション活動等を構想している。ベンチャー起業・育成とファンドの成功の為の合理的で適切な連携について具体的な提案を記載すること。

（4）添付書類

- ・ 登記簿謄本
- ・ 直近3年間の主要な財務指標（売上高、経常利益、当期利益及び純資産額を含む）
- ・ 直近年度の決算書（及び監査実績がある場合に限り監査報告書）
- ・ 反社会勢力等への対応に関する基本方針及び反社会的勢力等との関係がない旨の確約書

6. 大学名称の使用等

名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー2号ファンド（仮称）には、本学等の名称使用を許諾することがありうる。ただし、本ファンドは、学外に設置するものであり、その名称使用にあたっては下記注釈を明示するほか、大学の指示に従うこと。

「本ファンドは、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、及び三重大学に由来するベンチャー企業の育成を目的に組成されたものであり、資金調達と投資活動は、本ファンドを運営するベンチャーキャピタルの責任において行われる。投資先ベンチャー企業の活動、製品等について、上記各大学は一切責任を負わない。」

7. 審査・選定方法

- ・ 本学内に設置した学外有識者を含む審査委員会にて審査する。
- ・ 公募説明会を以下のとおり実施する。
日時：9月14日（金）16：00～17:00
場所：名古屋大学 ナショナルイノベーションコンプレックス 3F 大会議室
- ・ 応募書類提出後、審査の必要に応じて個別にヒアリングを行うことがある。
- ・ 2018年10月下旬を目途に事業者を選定する予定である。

8. 応募提出資料の送付先、本公募の問い合わせ窓口

- ・ 本公募に応募される場合、5. に記載した書類のハードコピー1部と書類のファイルを記録したUSBメモリを以下に送付ください。

〒 464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学 ナショナルイノベーションコンプレックス
学術研究・産学官連携推進本部 VC公募係

- ・書類ファイルは、5. に記載した各々の書類を個別のファイルに記録したものと、全書類を1個のpdfファイルに統合したものをUSBメモリに記録すること。
- ・本公募に関する問い合わせは、以下のメールアドレスにご連絡ください。
e-mail address : vc-koubo@aip.nagoya-u.ac.jp

以上

【注記】

- ※1：名古屋大学を中核機関の一つとしてGa_N研究コンソーシアムが組織され、大学・企業からのメンバーが集結して研究展開を行っている。ここで創出された技術を利用するベンチャーが希望する場合、投資先候補とする。

URL: <http://www.gan-conso.jp/>

- ※2：発明の優先開示は、発明者が予め認めた場合等の一定の条件を設ける。